

## ● 絵本から人権(男女共生)について考えました ●

『おんなのこ だから』 岩崎書店

レイフ・クリスチャン 文      にもんじ まさあき 訳      はた こうしろう 絵

女の子だからって、男の子だからって、やりたい仕事や好きな事って決まっているの？  
男の子は泣いちゃダメ？ お世話するのは女の子の仕事？ あなたはどう思う???

男の子女の子かんけいない。男の子がせんたくするのふつうだよ、女の子だっていっぱいしごとしてるもん。

1年生

男の子がせんたくやぬいものをして  
もいと思いました。

わたしのお父さんは、お母さんがお兄ちゃんのおむかえに行っているとき、料理をしていたからです。

2年生



わたしのしょう来のゆめはプロ野球せん手なので、この本を読んで、より「なりたい!」という気持ちが出てきました。

3年生

自分でやりたいと思ったことは、人に「～のくせに」って言われても、自分がしたかったら、あきらめずしたいことをすればいいと思った。

4年生

ナイチンゲールやキュリー夫人は、「女の子だから」と言われながら育ち、でも偉大な記録を残した。

きっとだれだって、決めつけられるといやな気持ちになる。

自分は自分らしく生きた方がいい！

5年生

イメージですべて決めたらだめだと思いました。女の子らしい、男の子らしい、だれがそんな〇〇らしいなんか決めたの？と思いました。

女の子だからこれはやっちゃだめ、男の子だからピンク色が好きになったら変、こんな考え方をみんながしなくなれば、女の子らしい男の子らしいがなくなり、自分が好きなように人から何も言われなくてできるんじゃないかなと思いました。

6年生

長野小学校では、性別に関係なく、名前を呼ぶときは「〇〇さん」と呼びます。また、並ぶときは、男女混合の場合が多いです。

性別にとらわれず、ともに助け合い認め合う心を育てるとともに、自信をもって自分らしく生きていくことができる長小っ子に育ってほしいと願っています。